



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月7日

上場会社名 JKホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9896 URL <https://www.jkhd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 慶一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 館崎 和行 TEL 03-5534-3803
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	295,156	△4.7	6,552	△36.6	7,202	△33.1	4,140	△40.1
2023年3月期第3四半期	309,671	10.7	10,334	2.2	10,764	0.2	6,915	△7.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,667百万円 (△32.8%) 2023年3月期第3四半期 6,949百万円 (△8.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	143.22	—
2023年3月期第3四半期	231.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	238,184	61,387	24.9	2,052.43
2023年3月期	225,408	57,897	24.9	1,937.49

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 59,330百万円 2023年3月期 56,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2024年3月期	—	15.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△1.7	8,000	△17.7	8,000	△22.3	5,000	△25.2	161.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	31,040,016株	2023年3月期	31,040,016株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,132,525株	2023年3月期	2,117,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	28,912,482株	2023年3月期3Q	29,827,937株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、東京証券取引所における上場市場について、2023年10月20日よりプライム市場からスタンダード市場へと移行しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、アフターコロナ下で社会経済活動の正常化が進み、全体として緩やかな景気回復が続いております。その一方で、ウクライナや中東の情勢の緊迫化や日米金利差等に起因する円安等から、資材、エネルギー価格の高騰が続き、加えて「2024年問題」等から人手不足がさらに激しくなるなど、先行き不透明な状況が続く見通しであります。

当社グループが属する住宅業界では、実質賃金が伸び悩む中で住宅価格は高止まりしていることなどを主因に住宅需要が低迷しており、当第3四半期連結結果計期間の新設住宅着工戸数は全体で△6.3%と減少し、当社グループが主力とする持ち家では△12.2%、木造では△5.0%といずれも減少が続いております。

このような状況下、当社グループは、2023年8月、ジャパン建材フェアをピフオーコロナ時代と同様の規模で開催し、営業活動を活発化しました。並行して、在庫水準の適正化に取り組み、価格や機動性を考慮した商材変更の提案、「資産価値が残る家づくり」に向けた付加価値の高い商材の提案等を推進し、足元のみならず今後の業界環境を見据えた営業活動を強化しております。また、従来以上に訪問頻度を高め、お客さまとのコミュニケーションを密にしております。

この結果、当第3四半期連結結果計期間における業績は以下のとおりとなりました。

売上高につきましては、2,951億56百万円（前年同期比4.7%減）と「ウッドショック」によりレコードを大きく更新した前年同期に肉薄する水準となりました。利益面では、総合建材小売事業が前年同期並みの利益を確保し堅調に推移した一方、合板製造・木材加工事業の減益幅は大きく、全体でも大幅減益となりました。具体的には、営業利益は65億52百万円（同36.6%減）、経常利益は72億2百万円（同33.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億40百万円（同40.1%減）となりました。しかしながら、「ウッドショック」後の諸要因を織り込んだ期初計画との比較では売上はほぼ計画並み、利益は計画を上回る水準で推移しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 総合建材卸売事業

「ウッドショック」の反動から値下がりが続いた木材や合板等の素材類はほぼ底打ちし、資材、エネルギー価格の高騰等から値上げ基調にあったその他建材、住宅設備等にも価格面では落ち着きが見えてきました。一方、肝心の需要は弱く、中核のジャパン建材株式会社をはじめ各社各様に、売上のボリュームと適正な利潤の確保に努めましたが、大幅な増収増益となった前年同期との比較では見劣りする結果となりました。

この結果、当事業の売上高は2,439億22百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は54億17百万円（同21.8%減）の減収減益でしたが、第2四半期連結結果計期間までのマイナス幅は売上、利益ともに圧縮できました。

② 合板製造・木材加工事業

当事業の中核を占める株式会社キーテックは、ロシア産輸入単板の入荷停止により主力のキーラム（LVL）事業の苦戦が続いております。国産合板は、販売価格の下落が続くものの販売量は維持しております。同社全体として前年同期比では減収減益となりましたが、利益面では期初計画を上回る水準となっております。ティンバラム株式会社は、昨年来の製品価格下落により厳しい状況が続いておりますが、在庫を前年同期の半分以下に圧縮するなど、業績改善に向けあらゆる企業努力を継続しております。

この結果、当事業の売上高は99億20百万円（前年同期比25.4%減）、営業利益は1億33百万円（同93.8%減）の減収減益でしたが、当第2四半期連結結果計期間からの黒字を維持しました。

③ 総合建材小売事業

総合建材小売事業につきましては、当第1四半期連結結果計期間中に株式会社長谷川建材を株式会社ブルケン東日本に、株式会社タムラ建材および有限会社原口建材店を株式会社ブルケン・ウエストに吸収合併し、北海道および九州地区での組織再編を行いました。また、2023年9月には、新潟県を地盤として住宅向け構造材プレカット加工および住宅建築資材の販売業を営む株式会社イタヤおよびその関連会社である有限会社コスモランバーの事業を、当社連結子会社である株式会社ブルケン（現 株式会社ブルケン・イタヤ）が譲り受け、当社小売部門の拠点の拡充を図りました。このように総合建材小売事業セグメントでは、積極的にM&Aを推進するとともに適宜組織再編を実施し、各地の事業承継ニーズに応えながら、グループのネットワークをダイナミックに拡大しております。

この結果、当事業の売上高は382億99百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は10億95百万円（同0.6%増）と、前年同期並みの実績となりました。

④ その他

その他には、建材小売店の経営指導を中心にフランチャイズ事業を展開している株式会社ハウス・デポ・ジャパンのほか、建設工事業の子会社5社、物流関係の子会社等6社および純粋持株会社であるJ Kホールディングス株式会社の一部事業等を区分しております。

この結果、当事業の売上高は30億13百万円（前年同期比12.8%増）、営業損失は2億14百万円（前年同期は34百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,381億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて127億76百万円増加いたしました。増減の内訳としては、現金及び預金が132億1百万円、受取手形、売掛金及び契約資産と電子記録債権の合計額が30億81百万円増加し、棚卸資産が41億98百万円減少したことにより、流動資産が120億17百万円増加いたしました。

固定資産は、有形固定資産が6億76百万円、無形固定資産が62百万円、投資その他の資産が20百万円増加したことにより、固定資産全体では7億59百万円増加いたしました。

負債は1,767億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて92億86百万円増加いたしました。増減の内訳としては、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が146億64百万円増加し、短期借入金と一年内返済予定長期借入金の合計額が10億89百万円、未払法人税等が20億54百万円減少したことにより、流動負債が99億55百万円増加いたしました。

固定負債は、長期借入金が9億9百万円減少したことを主因として、6億68百万円減少いたしました。

純資産は613億87百万円となり、前連結会計年度末に比べて34億89百万円増加いたしました。利益剰余金が30億35百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、概ね期初予想の範囲内で推移しております。地政学リスク、物価動向、金融政策の変化等、先行きの不確実性は依然高いままではあり、期末に向けて分譲業者に在庫圧縮の動きが見られるなど需要面も弱含みとなっております。このように厳しい経営環境が続きますが、第4四半期も当社グループの総合力の発揮に努め、期初に掲げた計画達成を目指します。このため、2023年5月12日に公表した通期の連結業績予想に変更はありません。修正が必要になった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,897	56,098
受取手形、売掛金及び契約資産	70,230	68,358
電子記録債権	18,137	23,092
商品及び製品	17,399	14,369
仕掛品	1,059	886
原材料及び貯蔵品	3,288	2,293
その他	2,788	2,726
貸倒引当金	△196	△201
流動資産合計	155,605	167,623
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,148	42,667
その他(純額)	17,154	17,312
有形固定資産合計	59,303	59,980
無形固定資産		
のれん	192	150
その他	1,088	1,192
無形固定資産合計	1,280	1,342
投資その他の資産		
投資有価証券	3,999	4,244
退職給付に係る資産	174	189
その他	5,386	5,410
貸倒引当金	△343	△606
投資その他の資産合計	9,218	9,238
固定資産合計	69,802	70,561
資産合計	225,408	238,184
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,547	57,440
電子記録債務	55,483	66,254
短期借入金	12,486	11,986
コマーシャル・ペーパー	3,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	8,426	7,836
未払法人税等	2,781	726
賞与引当金	1,446	773
役員賞与引当金	101	96
その他	6,200	5,313
流動負債合計	143,473	153,428
固定負債		
長期借入金	15,620	14,710
退職給付に係る負債	1,193	1,105
役員退職慰労引当金	634	670
その他	6,588	6,881
固定負債合計	24,037	23,368
負債合計	167,510	176,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,195	3,195
資本剰余金	6,672	6,669
利益剰余金	46,352	49,388
自己株式	△1,767	△1,780
株主資本合計	54,453	57,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,312	1,521
繰延ヘッジ損益	△8	△33
土地再評価差額金	331	279
退職給付に係る調整累計額	△51	88
その他の包括利益累計額合計	1,583	1,857
非支配株主持分	1,860	2,056
純資産合計	57,897	61,387
負債純資産合計	225,408	238,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	309,671	295,156
売上原価	272,043	260,146
売上総利益	37,627	35,010
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	11,445	11,906
役員賞与引当金繰入額	76	96
賞与引当金繰入額	740	712
運賃	3,790	3,900
減価償却費	836	890
役員退職慰労引当金繰入額	63	67
退職給付費用	452	503
貸倒引当金繰入額	29	277
その他	9,858	10,103
販売費及び一般管理費合計	27,293	28,458
営業利益	10,334	6,552
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	137	139
仕入割引	233	217
不動産賃貸料	178	183
持分法による投資利益	65	—
受取保険金	46	321
その他	157	183
営業外収益合計	829	1,057
営業外費用		
支払利息	275	259
その他	123	147
営業外費用合計	399	407
経常利益	10,764	7,202
特別利益		
固定資産売却益	116	16
投資有価証券売却益	9	71
会員権売却益	2	—
負ののれん発生益	—	16
固定資産受贈益	16	—
特別利益合計	145	104
特別損失		
固定資産売却損	20	6
固定資産除却損	49	12
投資有価証券売却損	—	0
会員権売却損	—	1
会員権評価損	—	1
減損損失	33	95
特別損失合計	103	117
税金等調整前四半期純利益	10,806	7,190
法人税、住民税及び事業税	3,215	2,542
法人税等調整額	358	305
法人税等合計	3,574	2,848
四半期純利益	7,232	4,341
非支配株主に帰属する四半期純利益	316	200
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,915	4,140

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,232	4,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	210
繰延ヘッジ損益	△142	△25
退職給付に係る調整額	△179	140
その他の包括利益合計	△282	326
四半期包括利益	6,949	4,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,633	4,466
非支配株主に係る四半期包括利益	316	201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	総合建材 卸売事業	合板製 造・木材 加工事業	総合建材 小売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	255,144	13,291	38,562	306,998	2,672	309,671	—	309,671
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	24,200	6,504	510	31,215	4,802	36,017	△36,017	—
計	279,344	19,796	39,073	338,214	7,474	345,688	△36,017	309,671
セグメント利益 又は損失(△)	6,932	2,171	1,089	10,193	△34	10,158	175	10,334

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ事業、不動産賃貸業、倉庫及び運送業、建設工事業、旅行業、保険代理業及びEC事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去175百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失を認識していないため、また、のれん等の金額に重要な影響を及ぼす事象が生じていないため記載しておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	総合建材 卸売事業	合板製 造・木材 加工事業	総合建材 小売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	243,922	9,920	38,299	292,142	3,013	295,156	—	295,156
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,189	5,680	630	28,500	5,083	33,584	△33,584	—
計	266,111	15,601	38,929	320,643	8,097	328,740	△33,584	295,156
セグメント利益 又は損失(△)	5,417	133	1,095	6,647	△214	6,432	119	6,552

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フランチャイズ事業、不動産賃貸業、倉庫及び運送業、建設工事業、旅行業、保険代理業、住宅ローン仲介業及びEC事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去119百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な減損損失を認識していないため、また、のれん等の金額に重要な影響を及ぼす事象が生じていないため記載しておりません。